

ご 案 内

第138号
2025年7月 8 日
家族会 のぞみ

8月の定例会は盆休みです



「死んだら永遠に無」って本当？死後の意識と存在について

「死んだら意識はなくなる」とよく言われますが、それは本当なのでしょうか？科学の世界では、脳の活動が停止すれば意識も消えるというのが一般的な見解です。

一方で、臨死体験のような現象によって「死後も意識は続くのでは？」という可能性も感じられます。

臨死体験からわかること

臨死体験とは、心停止や重い病気など「死」に近い状態で起こる不思議な体験です。

「トンネルを抜けた先に光が見えた」「亡くなった家族と再会した」など具体的な話がよく見られます。しかし、科学者によるとこれらは脳内の神経伝達物質の変化や、酸素不足が引き起こす幻覚の可能性が高いと言われています。

仏教における「死後」の捉え方

仏教では、輪廻転生の考えが中心です。

行い(カルマ)によって次の生が決まり、浄土宗や浄土真宗では阿弥陀仏の力によって極楽浄土に行くことを目指します。これらの教えは、死後の「無」に対する不安を和らげ、生き方を見直すきっかけになるでしょう。

死後を考えることのメリット

「死」を考えるのは怖いと思うかもしれませんが、死を意識することで、今の生き方を見直すきっかけになります。

例えば、死の存在を意識すると、人生の時間が限られていることに気がきます。それにより、一日一日が特別なものだと感じられるようになります。大切な人との時間をより大事にしたり、挑戦を先延ばしせず行動するきっかけにもなるでしょう。

死後を考えることは、ネガティブなことだけではありません。より良い人生を送るためのヒントを与えてくれます。

◎ 相田みつを作品集「ベストセクション」からの紹介 第13回 ◎

ほんとうのことが いちばんいい

みつを



会員の皆様へ

「のぞみ便り」への寄稿をお願い致します。テーマは何でも構いません。普段の生活、最近あったうれしいこと、自慢したいこと、困ったことなどなど。文章を書くに当たって相談に乗ります。連絡先: 福井司臣 080-1273-4832